

霧島山のめぐみめぐる

えびの

山と水、米と肉。温泉と四季のまち。

広報

11

2017
NOV
vol.613

Ebino city
Public relations

特集
輝け!
飯野高校

今月の掲載記事

小林市・えびの市・高原町 合同特集

西諸での出産について考える

えびの市発展のために尽力
予算の執行状況を公表します

CIVIC NEWS

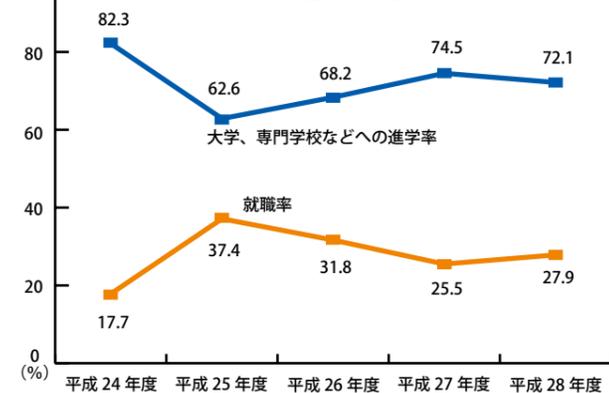
まちのわだい

輝け!

飯野高校



●飯野高等学校進学者と就職者の割合



●飯野高等学校入学者推移

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
入学者数	107	104	71	108	105	97
市内からの入学者数	44	57	41	59	56	56
市内中学校卒業生数	194	171	154	156	169	147
入学者全体に占める市内中学校卒業生の割合	41.1%	54.8%	57.7%	54.6%	53.3%	57.7%
市内中学校卒業生に占める入学者の割合	22.7%	33.3%	26.6%	37.8%	33.1%	38.1%

今回の特集では、学校内外で活動している飯野高校生徒の姿を紹介します。

また、同校卒業生の進路については、進学者、就職者の割合のばらつきはあるものの、過去5年間の進路未決定者は、0人です。これは、それぞれの目標を達成していることを意味しています。

その成果は少しずつではありますが出てきており、市内中学校卒業生に占める同校への入学者の割合は増加傾向にあります。

また、同校卒業生の進路については、進学者、就職者の割合のばらつきはあるものの、過去5年間の進路未決定者は、0人です。これは、それぞれの目標を達成していることを意味しています。

市内唯一の県立高等学校である飯野高等学校。少子高齢化が進む中、宮崎県教育委員会では、県立高校の統廃合を進めており、その動向が気になると思いますが、同校は特色ある教育を進め、県内でも注目を集めています。その特色とは、

- 一人ひとりの学力を伸ばす、個々に対応した学習システムがある

- 今の大学入試改革に即応した学習や進学のための支援体制ができています

- 就職のための各種資格取得を個別にサポートしている

- 部活動だけでなく、個々の学校外活動をサポートしている

- 県外との遠隔授業や地域との交流など、体験的活動が充実している

- その成果は少しずつではありますが出てきており、市内中学校卒業生に占める同校への入学者の割合は増加傾向にあります。

体験を通して学ぶ

飯野高校の教育は、教科だけの学習にとどまりません。生徒たちは学校内外でさまざまな体験を通して学んでいます。

内の小中学校の児童生徒と交流を深めたり、地域に根ざした活動などに取り組んだりしています。

小中高一貫教育の行事として行っている「子どもサミットin飯野」では、飯野小・中学校の児童生徒と地域について考えています。高校生は、小学生や中学生から意見を引き出すため、積極的に話しかけてサミットを運営しています。

これから高齢化がますます進んでいくことが予想されることから、認知症への理解を深め、認知症の人に対してどう対処したらよいか学習するため、認知症サポーター養成講座も行っています。

また、えびののシテイセールスを考える授業にも取り組んでいます。

京町・吉田温泉「みなほ会」と連携し、高校生の視点で新たな地域活性化事業の構築を目指すプロジェクトや、有名アーティストによる本市のオリジナル楽曲に高校生のアイデアを融合させたミュージックビデオを制作する事業にも取り組んでいます。

最先端の技術を駆使した授業

飯野高校には、最先端のICT（情報通信技術）を活用した遠隔授業を行うシステムがあります。教育機関では、



①高校の校門に約4mの門松を作りました②認知症サポーター養成講座で説明を熱心に聞く生徒③PR動画制作ワークショップでアートディレクター光嶋崇氏の話しを聞きました④隠岐国学習センターとの遠隔授業で自己紹介をする生徒⑤ICTシステムを活用して南極越冬隊員との遠隔授業を行いました⑥子どもサミットのグループワークで進行役を務めました⑦地域を活性化させるプロジェクトのプレゼンテーションを市長やみなほ会の皆さんに行いました⑧文化祭でのファッションショーに向けて現役モデル増元美喜氏からウォーキングの指導を受けました⑨仕事体験フェスタで小林地区建設業協会青年部から指導を受けながらレベルをのぞく生徒

日本初のもので、ICTシステムを利用して、定期的に島根県隠岐郡海士町隠岐国学習センターと生徒同士がそれぞれの地域について議論を行っています。

また、6月にはえびの市と東京をつなぎ南極越冬隊員による遠隔授業が行われ、市内の小中学生と飯野高校生が参加しました。





①京町温泉マラソン大会第1エイドで飲料水の供給する生徒②太鼓フェスティバルで演奏する太鼓部③ゴールで記録表を渡す生徒④完走者に飲料水を渡す生徒⑤秋季さびの観光祭で販売の手伝いをする生徒⑥マラソン大会参加賞の袋詰めを行いました⑦スタート前の整理を行う生徒⑧焼肉スタジアムで炭火を起こす生徒⑨焼肉スタジアムに来た皆さんに皿を渡す生徒



グローバル発表会では美習活動などの報告が行われます



2年間 地域で学ぶ



映画にしたい話で表彰を受けた皆さん



わけものの主張で意見を述べる生徒



若武者育成塾成果発表会優秀賞の報告をする生徒

伝える力を学ぶ

飯野高校生は、いろいろな発表の場で、自分の意見を述べ評価されています。

昨年の12月に行われたアサヒビール株式会社主催の若武者育成塾成果発表会では、当時3年生だった3人が、シカの活用を通じた環境保全の推進について発表し、見事優秀賞(全国2位)を獲得しました。

1月に行われた「平成29年度わけもの主張西諸大会」では、1年生が会場し、優秀賞に選ばれ、2月に県大会に出場しました。

また、えびの映画祭実行委員会主催の「映画にしたい話」に応募し、佳作に選ばれるなどしています。

地域を支える力

また、飯野高校の生徒は、伝統を守り育てるため、学校内外での地域貢献活動を積極的に取り入れています。

京町温泉マラソン大会や焼肉スタジアムなどの市内で開催されるイベントにボランティアとして参加しています。

特に、京町温泉マラソン大会には、毎年生徒のほとんどがボランティアとして参加し、大会を支える大きな力となっています。



飯野高校最大のイベント

生活文化科では、3年生になると、これまで学んできたことの集大成として、オリジナルの衣装を制作し、文化祭のファッションショーで披露します。このショーは、報道機関が取材にやってくるほど有名な行事です。

今年も9月2日、高校の体育館でショーが行われました。軽快な音楽とともに、生徒たちは舞台から伸びたランウェイを自分で作った衣装を身にまとい堂々と歩いていました。

平岡里菜さんは「出るまでは緊張していました。みんなが声をかけてくれて、楽しんで歩くことができました。今回は約1カ月間で、ドレスも合わせて3着作りしました。失敗したこともあって、手直しするのが大変でした。ウオーキングは、猫背にならないようにしたり、ドレスを着るときに背中を反るようにしたりなど、習ったことを意識して歩きました。作ったドレスは、将来、結婚式で着たいです」と話していました。

文化祭に来ていた保護者からは「娘が衣装を作って堂々と歩くことができると誇りに思います」と話していました。





遠隔授業のシステムを体験する守り育てる会



飯野高校で行われたえびの市中学校集合学習会



成銘館で英語の授業を受ける生徒

飯野高校を守り育てる

守り育てる市民の会

平成22年12月20日、飯野高校が統廃合検討校となることが懸念されるなか、えびの市内で唯一の県立高校である飯野高校を統廃合から守るため、「飯野高等学校を守り育てる市民の会」が発足しました。同会は、「地域の子どもたちが、安心して地域の学校で学べ

る環境の保障」「地域社会の中核を担う人材の育成」「特色ある学校に育てるための活動を行う」を柱に、飯野高校の存続を強く求めていくこととしていきます。同会は、市内の教育関係機関や関係団体など25団体で構成されています。同会では、県教育委員会の県立高校統廃合に関する動向の情報の共有やその

対策、市の支援策への提言、同校の授業や施設の視察などが行われています。一貫教育と支援事業
市では、現在、飯野高校と市内小中学校との一貫教育に取り組んでいます。この取り組みでは、飯野高校生と市内小中学校の児童生徒との交

目標達成のために支援

飯野高校は、地域に根ざした学校づくりを行っています。その実現のためには、高校、保護者、行政、地域の協力が必要です。生徒たちのそれぞれの個性を伸ばし、目標を達成できるように、市では飯野高校の支援を行っています。

「成銘館」では、講師2人を招き、進学などにおいて力が必要とされる数学と英語の指導を行っています。これは、生徒の基礎学力の向上と教養を身につけさせることと、進路実現を支援し、将来地域に貢献できる力を養成するために設置したものです。

学力向上支援事業では、飯野高校が校内に設置した公営塾「成銘館」の経費を負担しています。

流、飯野高校教員と市内中学校教員の乗り入れ授業などを行っています。高校の専門性の高い指導を取り入れることにより、高い学力を身につけることが期待されています。平成27年度から、飯野高校の魅力を増やそうと、入学者を増やすことを目的に「成績優秀者への給付型の奨学金制度」や「通学困難者への交通費の支給」「学力向上支援事業」を行っています。



グループディスカッションでの意見を書き出す生徒



青年会議所の会員と話し合う生徒

自己主張の大切さを学ぶ

6月に、えびの青年会議所主催で「地域と向き合い自分の意志を示そう〜明るく輝く未来のために」が行われました。これは、同会議所が、生徒一人一人に市の課題をどう改善していけばよいか考えてもらい、選挙に対して自立した主権者意識を持つてもらおうと行ったものです。市の課題についてグループディスカッションを行った後、一番良い内容と思っただけに投票しました。

飯野高校では、さまざまな体験を通して、人間形成を図っています。地域社会が生徒たちをたくましく育てています。

人間形成を図る

飯野高校では、毎日楽しい学校づくりを目指しています。卒業した先輩や3年生の姿をみてそう思いました。校内のイベントや、日章学園九州国際高等学校との交流などを増やして、生涯の思い出として、将来、子どもに語り継ぐことができるような学校生活を送りたいです。

Interview



飯野高等学校

押方 修 校長

4月に赴任しました。生徒たちの最初の印象は、落ち着いているということです。社会の礼儀やマナーが、先生の手厚い指導や地域で学んでしっかり身につけていると思います。グループや生徒同士で学び合い、地域の人達から育まれている郷土愛に溢れている飯野高校の生徒たちです。



飯野高校生徒会

松下 太紀 さん

生徒会では、毎日楽しい学校づくりを目指しています。卒業した先輩や3年生の姿をみてそう思いました。校内のイベントや、日章学園九州国際高等学校との交流などを増やして、生涯の思い出として、将来、子どもに語り継ぐことができるような学校生活を送りたいです。



小林市・えびの市・高原町 合同特集

西諸での出産

について考える

—安心して生み育てられる地域へ—

これまで西諸地域の分娩を支えていただいていたえびの市の医療機関が、7月をもって「分娩を取り扱えなくなる」というニュースが流れました。

5月から西諸医師会のお力添えと宮崎大学のご理解・ご協力で小林市立病院での妊婦健診ができるようになりました。さらにこのたび、地元出身の産婦人科医師が小林市立病院に着任することになり、平成30年7月から同院での分娩が可能になります。

今月号では、西諸2市1町の合同企画として、改めて「一人一人が周産期医療を考える」をテーマにその及ぼす影響などを考察します。

西諸地域の根幹を揺るがす問題

「地元で子どもが産めないなんて…」

西諸地域で分娩ができなくなることは、多くの妊婦や今後出産を希望する人などに大きな不安を与えました。さらにこれは、西諸地域の少子化対策や子育て支援などの各種制度や施策の根幹を揺るがしかねない大きな問題です。

◆住んでいる地域に感じる魅力

(平成21年国土交通省調べ)

- 1位 自然環境が豊かなこと
- 2位 買い物や医療など日常生活が便利なこと
- 3位 気候や風土が良いこと
治安や風紀が良いこと

◆移住希望者に有効な移住定住施策

(平成26年NTTデータ経営研究所調べ)

- 1位 子育て支援 (保育園整備、医療費支援、出産祝い金など)
- 2位 医療機能整備 (病院・診療所の整備、病院連携など)
- 3位 観光交流産業の推進

出来事となりました。

魅力あるまちづくりには医療は必要不可欠

国土交通省の調査によると住んでいるまちに感じる魅力は、「買い物や医療などの日常生活が便利なこと」が2位になっています。

また、移住希望者に有効な移住施策は1位が子育て支援、2位が医療機能整備となることから、住んでいる人にも、都市部から地方へ移住を考える人にとっても、医療や子育てに対する期待はとても大きいものである。

あることがわかります。

人口減少が叫ばれ地方創生や地域活性化などへのさまざまな取り組みが行われているなか、「魅力あるまちづくり」は、西諸地域にとって重要な課題。それらを推進する上で、周産期医療は重要な存在になっています。

子どもたちのために医療を守り育てる

生活する上で医療というもの、切っても切り離せないものです。

医療を守り育てることは、住民に安心を与えるとともに、地域づくりや地方創生などにもつながります。だからこそ、西諸地域で暮らす私たちがひとつになり、医療を守っていくことが重要です。

「やっぱい西諸に住もたい」と未来を担う子どもたちにタスキを渡せるように。

専門家に聞きました。



宮崎大学医学部 医局長・医学博士 土井 宏太郎 先生

産婦人科医師に係る負担は大きい 医療を守るには皆さんの協力が不可欠

現在の周産期医療を取り巻く環境は、高齢出産などのハイリスク出産が増加し、産婦人科医師の負担が非常に大きくなっています。

来月7月から小林市立病院での産婦人科の分娩が再開される予定ですが、出産のすべてを地域の病院だけで担うことはできません。

そのため県では、最良の周産期医療を提供するために、一次医療(クリニック)、二次医療(県病院)、三次医療(大病院)が相互に連携する「周産期ネットワーク」を整備

しています。34の医療機関が情報共有などをし、どこでも出産ができる体制を作り上げています。

また、地域に産婦人科の核となる医師が戻ってこられることはとても嬉しいことであり、千載一遇のチャンスです。大きな負担がかかる医師が永続的に続けられるようにするために、サポート体制や地域の皆さんのご協力が必要です。

子育てしやすい環境はみんなで作り上げていくものと認識しています。

※周産期…妊娠22週から出生後7日未満までの期間をいい、合併症妊娠や分娩時の新生児仮死など、母体・胎児や新生児の生命に関わる事態が発生する可能性が高くなる期間。

市の妊産婦への支援策

市では、妊娠から出産にかかると経済的負担の軽減や、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進することを目的として、妊産婦に対し、出産のための支援を行っています。

【交通費相当額の支援】

分娩医療機関が遠方になることに伴い、妊娠後期の健診時の燃料代および出産時のタクシー代に係る交通費相当額の助成を行っています。

【対象者】申請日において市内に住所を有し、母子健康手帳の交付を受けている妊産婦で、妊娠22週目以降の妊婦等

【金額】妊産婦1人につき2万円支給

【助産師による妊娠・出産・育児に関する相談支援等】

妊産婦が気軽に妊娠・出産に関する相談ができるよう、また、妊娠中から産後の育

児まで切れ目ない支援を行うため、助産師による専門性を生かした相談・訪問等を行い、妊産婦の不安の解消が図れるよう支援を行っています。気軽にご相談ください。

【支援内容】妊娠中・出産後の相談（電話相談含む）・訪問・母乳相談・赤ちゃん訪問など

☎ 35・11116（直通）
市健康保険課 市民健康係



助産師
大門美紀（だいもんみき）さん
妊婦や産婦の健康相談を電話や訪問で行います。
お母さんたちが、少しでも子育てを楽しみながら日々を過ごしていけるように、身近な存在として支援していきます。

えびのの発展のために尽力

11月3日、えびの市文化センターで「平成29年度えびの市民表彰式」が行われました。今年度の受賞者は、地方自治部門、公共福祉部門で貢献されてきた2人です。

表彰式では、受賞者に村岡市長から表彰状と記念品が贈呈されました。村岡市長は、「えびの市発展のために、豊富な見識と経験を生かして、引き続きご指導・ご助言をよろしくお願ひします」と式辞を述べました。

受賞者を代表して、鶴田亨さんが「これからも微力ではありますが、えびの市発展のため尽力していきます」と謝辞を述べました。

えびの市市民表彰制度は、昭和62年度に「市政功労者表彰」としてスタートしました。

平成29年度の市民表彰では、市民に公募を行い、候補者の中から表彰審議会の審査により、受賞者を決定しました。

☎ 35・11111（内線302）
市企画課 秘書係

●各部門受賞者

○地方自治部門



外屋 伸彦さん
[今西・80歳]

【功績】15年間にわたり、えびの市自衛隊父兄会（現えびの市自衛隊家族会）の会長として、自衛隊に対する支援と理解を深めるための活動に尽力され、えびの駐屯地存続にも貢献された。
また、今西区の区長や市議会議員を務められ、地域リーダーとして自治意識の高揚に貢献された。

○公共福祉部門



鶴田 亨さん
[永山・82歳]

【功績】長年にわたり、地域の複数の社会福祉団体の役職を務められ、当市の社会福祉の向上に大きく貢献された。
また、えびの市遺族連合会において、理事を35年間務められるなど、率先して地域の団体役職に就任され、地域住民の模範となり、社会福祉の意識の高揚に貢献された。



市民表彰を受けられた皆さん

INTERVIEW

妊婦支援を続けていきます

当院では、妊婦健診を引き続き行っていきます。
妊婦さんは、お腹の赤ちゃんが元気に成長しているか、自分の健康状態はどうなのかなど、さまざまな身体的、精神的な不安や悩みを抱えています。その悩みを解消するための支援や、母体、胎児の健康状態を見守る妊婦健診に、これまで以上に力を入れていきます。
また、人吉、都城などの病院と連携を図っています。妊娠後期までは当院で健診を受け、別の産科施設で分娩することはできますし、妊婦さんが急変した場合に、連携して対処できるようにしています。
妊婦さんはもちろんのこと、産後の育児支援や精神的サポートも行っております。また、幅広い年代の女性のトータルサポートを心掛けておりますので、安心していつでもご相談ください。



えびの共立病院 医師
黒木 富士子先生



えびので妊婦健診できることが一番です

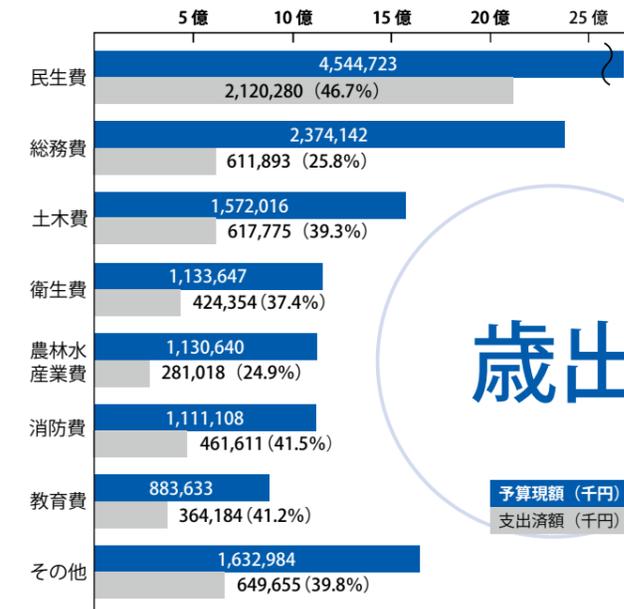
病院利用者 新原 亨さん

1人目をえびの共立病院で出産しました。息子は1歳4カ月になります。現在、2人目を妊娠していて、13週になります。
7月のニュースを見たときは、驚きました。インターネットで妊婦健診ができるかどうか調べました。実際に健診に行き、今後も健診を受けることができるとの説明を受けて安心しました。
ここで、1度出産していますので、先生やスタッフの皆さんを知っていますし、何よりもえびので妊婦健診を受けられることが、安心につながっています。産後も何かあったら相談に行きます。

一般会計

予算の執行状況を公表します

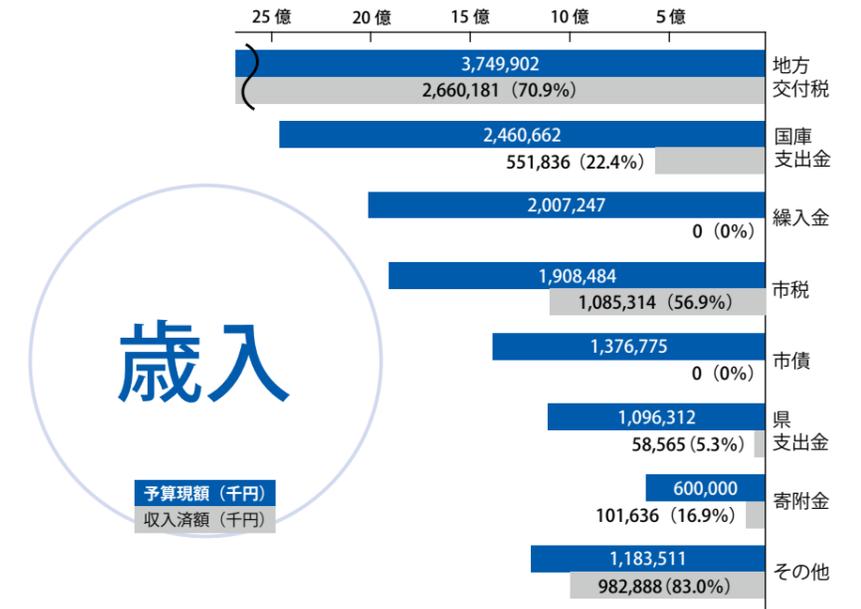
平成29年度のえびの市の一般会計予算額（平成29年9月30日現在）は、歳入・歳出それぞれ139億8824万4千円で、このほかに平成28年度からの予算の繰越が、3億9464万9千円あり、合計で143億8289万3千円となっています。
この合計額に対して、平成29年9月30日現在の収入済額は、54億4042万円で収入済率37・8%、支出済額は、55億3077万円で支出済率38・5%となっています。



※グラフは、それぞれ平成28年度からの繰越予算を含めた額です。
※歳出予算の「その他」は、議会費、労働費、商工費、災害復旧費、公債費などです。
※歳入予算の「その他」は、地方譲与税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰越金、諸収入などです。

【市債の状況】 [単位：千円]

区分	借入金残高	前年同期残高
一般会計	7,648,048	7,116,042



【特別会計の予算執行状況】 [単位：千円]

会計	歳入		歳出		
	予算額	収入済額	予算額	支出済額	
国民健康保険特別会計	4,051,751	1,841,019	4,051,751	1,539,154	
介護保険特別会計	保険事業勘定	3,359,492	1,644,888	3,359,492	1,283,848
	介護サービス事業勘定	16,790	8,802	16,790	6,130
後期高齢者医療特別会計	669,838	406,656	669,838	218,431	
合計	8,097,871	3,901,365	8,097,871	3,047,563	

用語説明

- 一般会計**
 福祉や教育、公園や道路建設などの市の基本的な事業を行う会計です。市税や地方交付税などを主な財源としています。
- 特別会計**
 特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う会計です。市では、国民健康保険、介護保険などがこれに該当します。
- 地方交付税**
 地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるように、一定の基準により国から交付されるお金です。
- 国庫支出金**
 国から地方自治体に交付される補助金や委託金などのことです。
- 市債**
 市がさまざまな事業を行うとき、長期にわたって借りるお金のことです。
- 公債費**
 市債を償還するための経費のことです。
- お問い合わせ先**
 市財政課財政係
 ☎ 35 - 3716 (課直通)

水道事業



- ◎水道業務量
 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)
 給水戸数・・・8,579戸
 給水人口・・・17,818人
 上半期給水量・・・974,900 m³
 1日平均給水量・・・5,327 m³
 1人1日平均給水量・・・299.0ℓ
 普及率・・・89.1%
- ◎借入金残高 **16億8,202万円**

■お問い合わせ先：えびの市水道課経営管理係
 ☎ 35 - 1113 (課直通)

【事業収入に関する事項】 [単位：千円]

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
水道事業収益	347,582	161,596	161,596	46.5
営業収益	323,863	160,949	160,949	49.7
営業外収益	23,718	609	609	2.6
特別利益	1	38	38	3800.0

収入の営業収益は、水道料金、手数料、水道加入金など。営業外収益は、預金利息、雑収益など

【事業費用に関する事項】 [単位：千円]

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
水道事業費用	361,941	146,790	146,790	40.6
営業費用	336,333	134,682	134,682	40.0
営業外費用	25,107	12,061	12,061	48.0
特別損失	1	47	47	4700.0
予備費	500	0	0	0.0

支出の営業費用は、浄水費、配水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息など

病院事業



- ◎病院業務量
 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)
 病床数・・・50床
 入院患者数・・・延べ5,766人
 外来患者数・・・延べ12,205人
 入院1日平均・・・31.5人
 外来1日平均・・・98.4人
- ◎借入金残高 **1,936万円**

■お問い合わせ先：えびの市立病院
 ☎ 33 - 1023

【事業収入に関する事項】 [単位：千円]

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
病院事業収益	854,710	416,330	416,330	48.7
医業収益	697,819	340,567	340,567	48.8
医業外収益	156,890	75,763	75,763	48.3
特別利益	1	0	0	0.0

収入の医業収益は、診療報酬・手数料など。医業外収益は、他会計補助金など。

【事業費用に関する事項】 [単位：千円]

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
病院事業費用	990,489	360,063	360,063	36.4
医業費用	988,417	359,686	359,686	36.4
医業外費用	1,571	377	377	24.0
特別損失	1	0	0	0.0
予備費	500	0	0	0.0

支出の医業費用は、給与費、材料代経費等。医業外費用は、企業債の償還利息など。

CIVIC NEWS

市政ニュース

健全な財政運営に全力で取り組みます 財政の健全化判断比率を公表

市では、財政の健全化判断比率などを算定しましたので公表します。

地方公共団体は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、決算に基づいて健全化判断比率と資金不足比率を毎年度算定します。算定後は、監査委員の審査を受けたうえで、議会に報告し、住民に公表することが義務付けられています。

健全化判断比率については早期健全化基準と財政再生基準、資金不足比率については経営健全化基準が定められています。基準に1つでも達した場合、財政運営の健全化を図るための計画策定など、さまざまな制約が課されます。

【えびの市の状況】

市の健全化判断比率、資金不足比率ともに、基準を下回りました。

市では引き続き、健全な財政運営に取り組んでいきます。

えびの市の健全化判断比率と資金不足比率

◎健全化判断比率

平成28年度決算に基づき、健全化判断比率を算定した結果、比率は以下のとおりとなり、いずれの指標についても、早期健全化基準（財政状況が悪化した場合に、財政の早期健全化を図るべき基準）を下回りました。

健全化判断比率	えびの市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—（※1）	14.23%	20.00%
②連結実質赤字比率	—（※2）	19.23%	30.00%
③実質公債費比率	2.7%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	—（※3）	350.0%	

（※1、※2）①の実質赤字比率と②の連結実質赤字比率が「—」となっているのは、実質赤字額や連結実質赤字額がないため、比率が「ない」ことを示しています。
（※3）「将来負担比率」の「—」は、将来負担比率が算定されず、現時点における将来支払うべき負担（市債の残高等）が、将来の財政を圧迫する可能性が低いことを示しています。

◎資金不足比率

平成28年度決算に基づき、各公営企業における資金不足比率を算定した結果、資金不足を生じた公営企業はないため、比率は「ない」こととなりました。

公営企業会計名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
病院事業会計	—	20.0%

【用語の説明】

標準財政規模：財源の用途が特定されずどのような経費にも使用することができる一般財源（市税・地方交付税等）の標準的な規模を表すもので、えびの市の場合は、平成28年度で約64億9,100万円
 実質公債費比率：標準財政規模に対する一般会計の赤字の割合
 連結実質赤字比率：標準財政規模に対する全会計の赤字の割合
 実質赤字比率：平成28年度に支払った一般会計の借入金返済額等の標準財政規模に対する割合
 将来負担比率：将来、市が支払う負担（市債残高等）の標準財政規模に対する割合
 資金不足比率：各公営企業の事業規模に対する資金不足額の割合

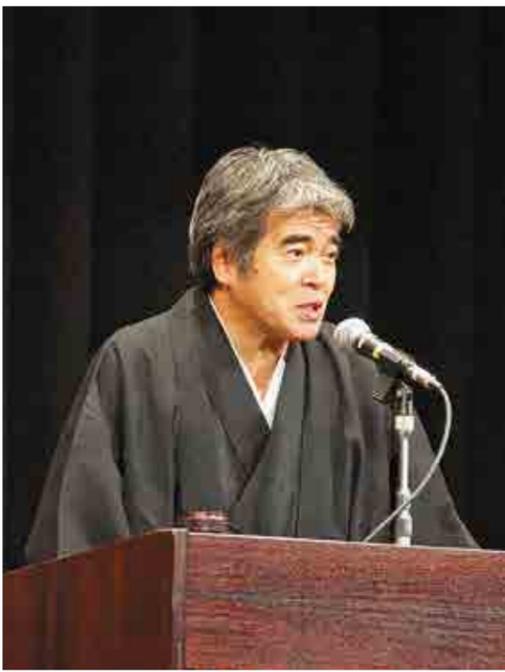
岡市財政課財政係 ☎35-3716（課直通）

平成29年度人権を考える市民のつどい 相手のことを考えて

10月7日、市文化センターで「第27回人権を考える市民のつどい」が行われました。つどいには、約500人の市民が参加しました。

このつどいは、人権・同和問題をはじめさまざまな人権問題に対する市民の正しい理解と認識を高めてもらおうと毎年行われています。

講師には、落語家の三遊亭歌之介氏が招かれ、「心に響く笑いと涙の人生学」の演題で講演しました。



講演を行う三遊亭歌之介氏

講演では、歌之介氏が会場で「皆さまと人とのエピソードを笑いを交えて話しました。歌之介氏は「立場などが違えば、考え方もいろいろあります。はっと気付かされたこともたくさんあります。自分心の考えではなく、相手のことも考えることが大切です」と話していました。

☎ 岡市総務課 人権啓発室
35・3711（課直通）

企業立地協定調印式 市の豊かな水を活用

10月16日、市と「五友エコワークス株式会社」が、企業立地協定を結びました。これは、市の産業の振興と安定的な雇用の拡大を図ることを目的に結ばれたものです。

同社は、えびのの良質な水を活用して、スーパーシリカ天然水（ミネラル水）の製造・販売を行います。

現在、東長江浦地区の株式会社理健ミネラル研究所跡地に工場を構え、来年度生産目標の1000万本に向けて製造

造を行っています（500mlペットボトルに換算）。

協定の締結にあたり、山崎正一代表取締役社長は、「えびの市に縁があつて、進出できました。シリカ水はまだあまり知られていませんが、えびのの良質な水売り出していきたいです」と話しました。

☎ 岡市観光商工課 企業誘致・商工振興室
35・3727（直通）



協定を結んだ村岡市長と山崎代表取締役社長

CIVIC NEWS

市政ニュース

宮崎県乳肥農協枝肉共進会・宮崎県畜産共進会 家畜の品質向上を目指す

10月中旬、県内外で宮崎県乳肥農協枝肉共進会、宮崎県畜産共進会（枝肉の部）が行われました。

これは、肉質の向上と畜産経営の発展を目的に行われているものです。

えびの市からは、宮崎県乳肥農協枝肉共進会に9人、宮崎県畜産共進会（枝肉の部）に5人が出品し、優秀な成績を収めました。

●宮崎県乳肥農協枝肉共進会
10月13日、球磨郡錦町のゼンカイミート株式会社で「第30回宮崎県乳肥農協枝肉共進会」が行われました。

- 【乳用種部門】
最優秀賞 岡原道広さん（高野）
【交雑種部門】
最優秀賞 平岡伸夫さん（原田）
【和牛部門】
優秀賞 前原義信さん（出水）
特別賞（株）北部霧島肥育牧場代表 永吉哲さん（高野）

●宮崎県畜産共進会（枝肉の部）
10月24日にミヤチク高崎工

場で「第60回宮崎県畜産共進会（枝肉の部）」が行われました。

【肉牛枝肉の部】
1等賞 宮原智憲さん（白鳥）、松下啓紀さん（向江）、吉留弘さん（永山）

2等賞 神田譲市さん（南原田）
【肉豚枝肉の部】
2等賞 稲泉元司さん（尾八重野）

●市畜産農政課 畜産振興室
☎ 35・3725（課直通）



宮崎県知事賞を受賞した平岡さん

平成29年度地域活性化活動実践報告会 市民活動を報告

11月3日、市文化センターで平成29年度地域活性化活動実践報告会が行われました。同報告会では、加久藤まちづくり協議会とえびのヒカリテラス実行委員会の2団体が報告を行いました。

加久藤まちづくり協議会は、「豊かな自然と郷土の文化を愛し、安心安全で住みよいまちづくり」をスローガンに活動しています。浜松政弘会長は「行政と地域住民が役割を分担していくことが重要



まちづくり協議会の活動の説明をする浜松会長

です。自立を目指してまちづくり活動をしていきます」と話していました。

えびのヒカリテラス実行委員会は「冬のえびので遊べる場所を」との思いからイルミネーションイベントを市文化センターで行っています。村上大輔実行委員長は「他の市民団体と連携を図り、魅力あるまちづくりを目指していきます」と話していました。

●市民協働課 市民協働係
☎ 35・1118（課直通）



イルミネーションの内容を説明する本田事務局長

えびの市自治基本条例 市民が主役のまちづくり

少ない人口で社会を支えなければいけない少子・高齢社会では、いろいろな人や団体が元気に活動することが求められています。そのためには、市民と行政が連携・協力してまちづくりを進めていくことが必要です。

そこで、市では、市民の皆さんと行政が適切な役割分担のもと、同じ目的を持って、助け合いながらよりよいまちづくりを推進するため、平成21年度に市民と行政との協働で「えびの市自治基本条例」を制定しました。

自治基本条例とは、まちづくりの条例とも言われ、市民・議会・行政の三者が一緒になって、よりよいまちづくりを行うための基本的な考え方やルールを定めたものです。

まちは、一つの共同体です。まちを良くするためには、行政や議会はもちろん、市民や団体、企業など、地域のみながまちのことを考えて行動することが大事です。地域のみんなで目指すまち

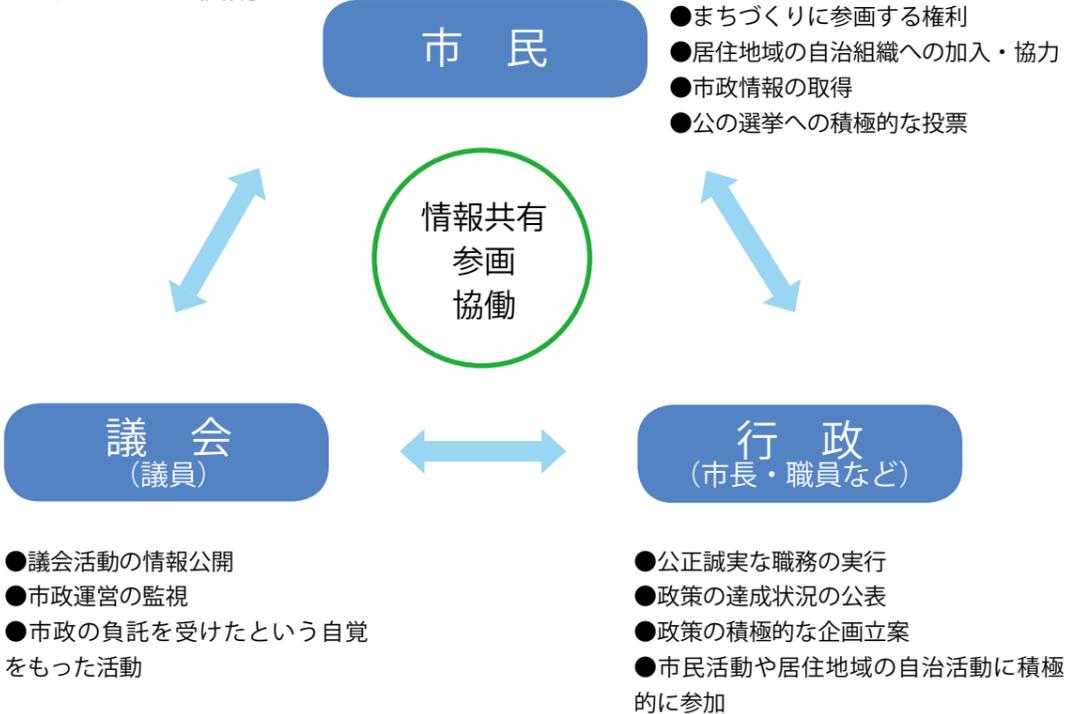
の姿を共有して、それぞれの役割をお互いに確認しあって取り組んでいくことが創造性豊かで活力に満ちた地域社会の現実につながります。

また、市民の皆さんが主体的に市政や地域のまちづくりに参画することにより、まちづくりが活性化します。みんな協力し合って、より一層くらしやすいまちづくりを目指しましょう。

※条例の詳しい内容はお問い合わせ、または市ホームページ（<http://www.city.ebino.lg.jp/>）をご覧ください。
●市民協働課 市民協働係
☎ 35・1118（課直通）



それぞれの役割





ま・ち・の・わ・だ・い



えびの青年会議所創立35周年記念事業講演会
えびのを盛り上げるために

10月29日、市文化センターでえびの青年会議所創立35周年記念事業講演会が行われました。これは、地域活性化に役立ててもらおうと同会議所が行ったものです。講師には、元佐賀県武雄市長樋渡啓祐氏が招かれ、「地域をプロデュース〜えびのを創るのは私たちだけ〜」という演題で講演しました。講演では「自らが行動を起こしましょう。そうすれば地域が盛り上がっていきます」と話していました。



第12回秋季えびの観光祭
食欲の秋を楽しむ

10月14日・15日、グリーンパークえびので「第12回秋季えびの観光祭」が行われました。観光祭には、市内外から約1万2千人が来場しました。今年、8店舗が肉料理を中心に出店しました。これは、えびのの美味しい肉料理を食べてもらおうとともに、市内のお店を知ってもらおうと行われたものです。来場者は、肉料理やフリーマーケット、アトラクションなどを楽しんでいました。

10月7日から8日にかけて、矢岳高原ベルトンオートキャンプ場で「BE・PAL MEAT CAMP in えびの」が行われました。これは、えびのの自然の中で、えびの市産の牛・豚・鶏肉を多くの人に食べてもらおうと、市と



BE-PAL MEAT CAMP in えびの

えびの産の食材に舌鼓

アウトドア誌BE・PAL編集部 の共催で行われたものです。熊本市から参加した家族は「今回で2回目の参加です。ワークショップも楽しいし、お肉もとてもおいしくて最高です」と話していました。

焼肉スタジアム2017

宮崎県産牛・豚・鶏肉を満喫



11月4日、市国際交流センター野外ステージで「焼肉スタジアム2017」が行われました。これは、地域を盛り上げようと同実行委員会が行ったものです。来場した市民は、宮崎県産牛・豚・鶏肉などの焼肉を堪能しました。

会場では、吹奏楽や太鼓演奏などのステージイベントが行われ、来場者を楽しませていました。吉留闘斗くん（加久藤小6年）は「初めてきました。肉がやわらかくておいしいです」と話していました。



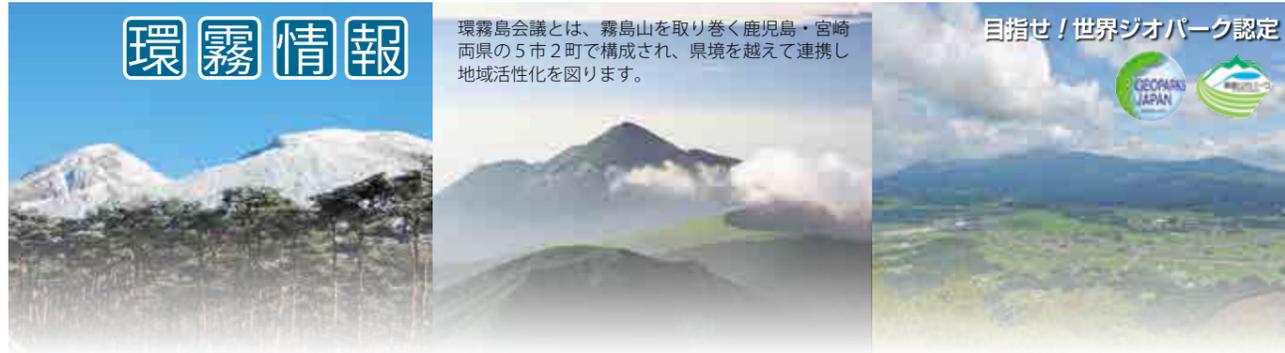
シルバー人材センターボランティア活動
気持ちよく使用できるように

10月20日、永山運動公園でえびの市シルバー人材センターの会員がボランティアで清掃作業を行いました。これは、市の施設を訪れた人に気持ちよく使用してもらおうと同センターが毎年行っているものです。清掃には、68人の会員が参加し、公園の植栽のせん定や河川敷公園の草刈りなどを行いました。参加した人たちは「遊びに来た人が喜んでくれるとうれしいです」と話していました。



えびの市視覚障害者福祉会ふれあい交流会
目の見えない状態を体験

10月11日、真幸地区体育館で「えびの市視覚障害者福祉会ふれあい交流会」が行われました。これは、目の見えない状態を体験し、どのように視覚障害者の補助をすればいいのかを学んでもらおうと視覚障害者福祉会の主催で行われたものです。真幸小5年生20人が参加しました。交流会では、アイマスクをして白杖を持って歩いたり、玉入れをしたりして目の見えない状態を体験しました。



環霧情報

環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

目指せ！世界ジオパーク認定



EVENTS OF KANKIRISHIMA

小林市



野尻町イルミネーション2017

- 日時=11月26日(日)～平成30年1月6日(土)
- 場所=野尻町(国道268号沿いの約2キロメートル)
- 内容=12月1日～16日の金・土曜日にはスタンプラリーを開催します。また、12月23日は野尻庁舎前でクリスマスイベントを行います。

問 野尻庁舎地域振興課
☎44-1100

えびの



ヒカリテラスイルミネーション

- 日時=12月10日(日)～12月24日(日)
- 場所=市文化センター前広場
- 内容=イルミネーション点灯式を12月10日午後4時30分から、メインイベントを24日午後5時30分から行います。今年のテーマは「宇宙」です。

問 えびのヒカリテラス実行委員会
☎090-9602-3004

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

田の神さーに 会いに行つた
真白いお顔に 紅付けられて
華やいだ お顔で 笑つてござる
おやおや こちらは そのまんま
地黒のお顔で 笑つてござる
時には 腹たつ事もあるだろに
暑い日 寒い日 風雨に耐えて
何時も ニコニコ 笑つてござる
花を供えられた 田の神さー
中には 花も供物も無い 田の神さー
藪の中 ちよこんと置かれた 田の神さー
一人ぼっちで 寂しく見える
心なしか 笑つているのに 悲しく見える
此の先 何回出会うでしょうね
田の神さーとの思い出は
うさぐさ 無いですね でも
会えば必ず手を合わせ
今日の出会いを 感謝する
田の神さーは 心におじやる

石井高子

詩

田の神さー

稲刈りで忙しかった日の夕暮れ手足だけは洗つて夕食の支度を袖と裾を少し
捲り上げるとボロッと粉がこぼれ落ちました。
我が家の秋の日のひとこまです。
(自註)

俳句

野良着脱ぎ 初このぼるる タベかな

中堀ふじ子

短歌

晴れた日は洗いでらうしの靴履いて
紅葉狩へと駆けて行きたし

岡本克子

季節は霜月となり氷雨が雪となる。又くれないの紅葉の季であり、足元にはわ
くら葉の落葉かはらはらと舞う。昨今は災害、事故、事件と多い中で作者は物の哀
れ、切なさ、愛を感じ取る繊細な感性をもっている。せめてひとたび野に染りたい
と思つたのであらう。秀歌である。
(評:竹下妙子)

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 37 - 3056 (俳句) 松山良文さん ☎ 33 - 4904 (詩) ポエム同好会 (石井高子さん) ☎ 33 - 0010まで

メテック株式会社 宮崎工場



バリ取り工程 (樹脂バリ除去)



モールド工程 (樹脂成型)

会社概要

メテック株式会社は、大正7年に北村和造個人企業として創業しました。「誠意・積極進取・和合」を社訓に、金やスズ等の電気メッキの可能性を追求し続け、半導体や電子機器部品等の金属表面処理技術を開拓してきました。本社は京都市にあり、現在、国内に5つの工場(京都、北海道、徳島、鹿児島、宮崎)を展開しています。また、海外にも2つの工場(マレーシア、タイ)を展開し、技術のグローバル化、広範な要望に即応するためのネットワーク構築を行っています。昭和62年にえびのの市に宮崎工場を開設しました。品質第一・工程での良品作り・不良品の流出防止と再発防止を常に心掛けています。また、環境保全への取り組みに力を入れています。環境方針を定め、化学物質の代替物質への転換や資源の有効利用、廃棄物の削減、排水処理管理の徹底などに取り組み、環境負荷への低減に努めています。

【事業所規模】

所在地	えびの市大字小田 1440番地
生産拠点	国内5カ所(京都・北海道・徳島・鹿児島・宮崎) 海外2カ所(マレーシア・タイ)
創業	大正7年
従業員	39人
電話番号	35-1869

働く人の声



うえのの 上之園政幸さん

地元で働きたいと思い入社して18年目です。エンジニアとして、メッキの試作などを行っています。自分の作った製品が量産につながったときはとても嬉しく、やりがいを感じます。品質面の高さやお客様の要望に応えることを意識して、楽しく仕事を続けていきたいと思っています。

市では、市内の事業所情報を市民に提供し地元企業の認知度を高め、市内事業所への就業先選択の拡大を図るために、昨年度から掲載を希望する事業所の募集を行い、昨年度は広報えびのの5社を紹介しました。今年度も5社程度の紹介を予定しています。詳しくは市観光商工課企業誘致・商工振興室までお問い合わせください。 ☎35-3727

家庭教育学級通信

飯野中学校の家庭教育学級は、PTA会員全員を学級生として活動しています。PTA活動も家庭教育学級の各講座も、協力し合い、支え合って取り組んでいます。活動は、飯野小学校との合同での取り組みも毎年計画しています。今年度は5月に「イチゴ摘み」、7月に「ヨガ体験」を実施しました。今年度は本部役員との共催で教育講演会を行いました。講師はコスプレ美魔女講演家「キャサリン」です。笑いの中にも、心に響く内容で好評でした。ま

た、産業文化祭の作品展へ出品するため「絵付け教室」を行いました。講師はえびの市在住の画家、入江万理子さんと、描き方のポイントなどを教えてもらった後、陶器の皿などに10色のペンを使って思い思いの絵やデザインを描き、それをオーブンで焼きました。参加した皆さんは、時間を忘れて熱中し、素晴らしい作品が完成しました。これからも、PTA会員全員で子どもたちの健やかな成長を願って、子育てや家庭教育について学び続けたいと思います。



絵付け教室で入江さんにアドバイスをもらいました



飯野中学校家庭教育学級長
内田 博子さん

自転車泥棒にご用心



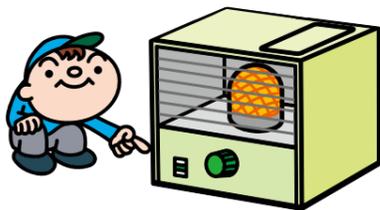
あなたの自転車が狙われています。最近、駅駐輪場での自転車の盗難が発生しています。

盗まれる自転車の大半は鍵が掛かっていません。

自転車も大切な財産の一つです。必ず自転車には鍵を掛けましょう。そして、鍵は1つだけでなく、2つ掛けるように心掛けましょう。盗難被害に遭った際にはすぐに警察に連絡をしてください。

10月の交通事故発生状況	人身	5件	本年累計	72件
	物件	30件	本年累計	247件

使用する前に点検しましょう



少しずつ冷え込む季節になってきました。これからさらに寒くなり、暖房器具を使用することが増えてきます。暖房器具を使用する前に点検をしましょう。

10月1日付で職員に異動がありました。
【着任】池上将歩（消防本部）、林大貴（新規採用）、矢野翔太（新規採用）
【離任】小磯寛起、時任祥平
心機一転頑張っていきますので、よろしくお願ひします。

10月の活動状況 【えびの消防署管内】	火災	0件	年計	11件
	救急	68件	年計	652件

あんしんねっと



市では、おおむね65歳以上の一人暮らしの高齢者で病弱な人、一人暮らしで重度身体障害者の人、75歳以上の高齢者のみの世帯でどちらか一方が寝たきりの状態または病弱である人等を対象に、日常生活における不安を少しでも解消してもらうため、緊急通報システム貸与を行っています。

ご利用ください「緊急通報システム」

この緊急通報システムとは、自宅に設置してある固定電話の電話番号を利用します。親機と小型ペ

人の精神的な不安除去が少しでも図れるようになっていきます。

緊急通報システムの貸与を希望したい人や説明を聞きたい人は、地域包括支援センターや、最寄りの在宅介護支援センターにご連絡ください。

文：西部在宅介護支援センター



西部在宅介護支援センター職員
久保賢優（くぼまさとし）さん

くらしのメモ



知っていますか「クーリング・オフ」

「クーリング・オフ」とは、契約した後、冷静に考え直す時間を消費者に与え、一定の要件を満たせば無条件で契約の解除（申し込みの撤回）をすることができる制度のことです。

「クーリング・オフ」は、訪問販売などの場合には、十分に考えたり、ほかの商品と比較したりすることができずに契約してしまいがちです。そこで、「特定商取引に関する法律」では、訪問販売などの取引についてクーリ

ング・オフ制度を設けて、消費者を保護しています。クーリング・オフの通知は必ず書面で行います。はがきなどの書面に次の記載事項を記入して、控えるために書面の両面をコピーに取ったうえで、「特定記録郵便」または「簡易書留」などの記録が残る方法で送ってください。クレジット契約をしている場合は、同様の書面をクレジット会社にも通知します。

いきいき!健康



見逃さないで「うつ病のサイン」

何となく続く身体や気分の不調を「気のせい」と片付けていませんか？もしかしたらそれはうつ病のサインかもしれません。うつ病は、ストレスが重なるなどさまざまな理由から脳の機能障害が起きている状態です。そのため、普段なら乗り越えられるストレスも、よりつらく感じられるという悪循環が起きます。うつ病で現れるのは、心の症状だけではありません。めまい、肩こり、吐き

気など身体の症状が現れることもあります。うつ病の人は周囲への気配りが上手な人が多く、症状が軽い初期には、心配をかけまいとして無理ににこにこ笑っていることもあるため、周りの人には元気づけように見えてしまうことがあります。うつ病を含む気分障害の患者が近年増えていますが、病院に行くのをためらって、受診しないまま悪くなっている人もいます。

- ・悲しい、憂うつな気分がする
 - ・興味がわかず、楽しくない
 - ・気力、意欲が低下している
 - ・食欲がない
 - ・人に会いたくない
 - ・悲しみ、失望から立ち直れない
 - ・自分は価値がないと感じる
- 等の症状が1日中ほぼ絶え間なくあって、2週間以上ずっと続くようなら、なるべく早く受診をしてください。治療が早ければ早いほど回復も早く、良くなるといわれています。

文：市健康保険課 中尾保健師

BOOKS



えびの地震から50年

地震の防災・減災対策に役立つ情報を紹介
第5回

大きな地震などの災害は、いつどこで発生するかわかりません。これらの災害に遭遇したとき、どこに避難すればよいのか、皆さんはご存知ですか。いざというときに慌てないように、自宅や働いている場所などの近くにある避難場所と安全な避難経路を確認しておきましょう。また、家族などが離れ離れになったとき、どのようにして連絡を取り合うか、どこで待ち合わせるかなどを普段から話し合っておきましょう。
今回は、避難場所、避難経路の確認方法や家族の連絡方法などについて紹介します。
市基地・防災対策課 基地・防災対策係 ☎35-1119 (直通)

おすすめの1冊



いたずらのおかみくん
きむらゆういち/作 国松エリカ/絵
(世界文化社)

おかみくんは、いたずらがだいすきなひねくれもの。ともだちをこまらせようと、あれこれしかけますが・・・。
ひねくれ者のおかみくんの「きもち」が、ともだちとのふれあいの中で変化していく様子を描いています。
読んでいくと心がぼっかぼかになる優しさが詰まった、ユーモア絵本です。ぜひ、子どもと一緒に読んでください。



今着たいセーター
サイチカ/著
(文化出版局)

吹雪のセーターとストール、ジャックと豆の木のセーター、春を待つセーターなど、ユニークでかわいい17点のセーターの編み方が紹介されています。
自然や物語などをモチーフにデザインされた作品たちを見ているとうっとりとしてきて、編んでみたくになります。
手編みは空気をふんわりと蓄えてとても暖か。この冬は、特別な一枚を編んでみませんか。



●避難場所を確認しておく
市では、災害に応じた避難場所を定めています。避難勧告や避難指示(緊急)が出たときには、速やかに避難場所に移動できるように、市ホームページ(https://www.city.ebino.jp/)や配布している防災マップなどで、あらかじめ避難場所などを確認しておきましょう。

●安全な避難経路を確認しておく
避難場所を確認したら、避難経路を散歩やウォーキングを兼ねて、一度歩いてみましょう。避難は、徒歩が原則です。普段何気なく通っている道も次のようなところは、危険なところ

◎「最近入ったお勧め本」

- マスカレード・ナイト 東野 圭吾 著 集英社
- あたらしい盆栽の教科書 小林 健二 著 エクスナレッジ
- 裏まで楽しむ!大相撲 ダグハウス 編 KADOKAWA
- 日々のおみもの 那須 早苗 著 文化出版局
- 発達障害の基礎知識 宮尾 益知 著 河出書房新社

◎お知らせ

クリスマスおはなし会
●日時=12月23日(土) 午前10時30分~午前11時30分
●場所=学習室
●対象=0歳~大人
●参加料=無料
※参加者にはプレゼントがあります。

手作り講座「ミニ門松づくり」

●日時=12月27日(水) 午前11時~正午
●場所=学習室
●定員=15組
●参加料=無料

◎12月のスケジュール

月間行事	年末年始休館日(12月28日~平成30年1月4日)	
1	金	移動図書館車巡回② 15:30~16:30
2	土	おはなし会 10:30~11:30
4	月	休館日
6	水	移動図書館車巡回③ 13:15~15:15
7	木	移動図書館車巡回④ 15:30~15:55
8	金	移動図書館車巡回⑤ 14:05~15:15
9	土	おはなし会 10:30~11:30
10	日	ヒカリテラスおはなし会 18:00~19:00
11	月	休館日
12	火	ブックスタート(1歳児に絵本配布)
13	水	移動図書館車巡回① 14:05~15:15
15	金	移動図書館車巡回② 15:30~16:30
16	土	おはなし会 10:30~11:30 土曜シネマ 13:30~
18	月	休館日
20	水	移動図書館車巡回③ 13:15~15:15 館内整理日
21	木	移動図書館車巡回④ 15:30~15:55
22	金	喫茶ふら〜っと 9:45~11:00 野菜・手芸品等の販売 9:45~11:00 移動図書館車巡回⑤ 14:05~15:15
23	土	クリスマスおはなし会 10:30~11:30
25	月	休館日
26	火	ドリームカー 10:30~12:00
27	水	ミニ門松づくり 11:00~12:00

※おはなし会:乳幼児10:30~11:00、4歳以上11:00~11:30
※移動図書館巡回:①「飯野駅前地区体育館→飯野出張所」②「麓橋団地→自衛隊官舎」③「岡元小学校→市立病院→さくら苑」④「老人福祉センター」⑤「飯野地区コミュニティセンター→警察署官舎」

えびの市民図書館

☎35-0242 http://ebino-city-lib.jp/

■開館時間■ 火曜日~土曜日/午前9時~午後7時 日曜日・祝日/午前9時~午後5時
■休館日■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

●待ち合わせ場所を決めておく
家族が一緒にいるときに避難所や避難経路の確認と、避難時の待ち合わせ場所を決めておきましょう。また、避難する際に、それぞれが何を持ち出すのかな



となる可能性があります。
・道幅の狭い道
・古い建物の近く
・ブロック塀、電柱、自動販売機の近く
・大きな看板の近く
・河川
このような危険箇所はできるだけ避けて、安全に避難できるようにしましょう。
避難経路は、たどり着けないことを予測して、2~3経路を想定しておくといでしょう。また、昼間はもちろん、夜間も実際に歩いてみましょう。
避難所までの避難経路を実際に歩くことにより、避難経路の安全確認につながります。

●家族で連絡方法を決めておく
災害が発生したとき、家族が一緒にいるとは限りません。家族が離れ離れになったときにどうするか、連絡方法を決めておくことが大切です。

●自宅を出るときは、メモを残す
災害が起きたときに家族が別々の場所におり、やむを得ず自宅を出る場合は、連絡用のメモを残しておきましょう。メモを残す場所なども普段から決めておきましょう。

●遠方に連絡中継所を作っておく
災害時に遠方に親せきや友人、知人がいれば、家族の安否情報の取り次ぎをもらうことができます。
この場合も、普段から連絡を取り合っておくことが大切です

指名競争入札参加資格審査(指名願いの追加受付)

市では、物品等、清掃・警備・設備維持管理・施設管理の指名競争入札参加資格審査の追加受け付けを行います。

【受付期間】12月1日(金)～12月25日(月) ※土・日曜、祝日を除く

【受付時間】午前9時～午後4時

【提出先】市財政課 入札・契約係

【提出方法】窓口へ持参するか、または郵送してください。

※郵送の場合は12月25日まで消印有効

詳しくは、市ホームページ(<http://www.city.ebino.lg.jp/>)で確認するか、市財政課入札・契約係へお問い合わせください。

【有効期間】平成30年2月1日～平成30年7月31日(6カ月間)

申・問市財政課 入札・契約係

☎35-3716(課直通)

えびのブランド第2回認定申請の受け付けを行います

市では、えびの市内の優れた特産品等を「えびのブランド」として認証することにより、商品の付加価値を高め、消費者等に地域イメージを高めることで、優良産品の販路拡大を図り、地域産業の振興を図ります。

【受付期間】11月21日(火)～12月20日(水)

【申請できる事業者(個人を含む。)の主な要件】

(1) 市内に本店または事業所等を有していること。

(2) 加工食品、民芸品の生産・加工・製造のいずれかを行い、かつ、自社商品として販売していること。

【対象産品】

次の表に掲げる基準を満たす産品とします。今回は、「加工食品」と「民芸品・工芸品(民芸品)」を対象とします。今後、農産物等も含めて認証対象を拡大していくことを検討します。

【認証品、認証事業者の取り扱い】

認証を受けた事業者には認証書を交付し、認証期間中は別に定める認証マークの使用ができます。また、認証品は、えびのブランドとして市ホームページ(<http://www.city.ebino.lg.jp/>) 等で広く周知します。

【申請方法】

所定様式に記入し、直接または郵送で提出してください。申請様式は、市ホームページからダウンロードするか、市観光商工課で取得できます。

加工食品	魅力向上	えびの市の魅力を市内外に広く発信し、販路拡大に意欲的であり、本市の魅力向上への貢献が期待できること
	産地	次のいずれかに該当していること ・市内で生産、製造、加工のいずれかをしているもの ・市内の原材料(調味料は除く。)を使用しているもの
	信頼性	・法令等に違反していないこと ・賞味期限または消費期限等必要な事項が適切に表示されていること ・外観、味、価格、品質ともに安全で安心して消費者が消費できること
	安定供給	品質および数量の面において、安定供給が見込めること。ただし、期間限定および数量限定で供給可能なものはこの限りではない
民芸品(民芸品・工芸品)	魅力向上	えびの市の魅力を市内外に広く発信し、販路拡大に意欲的であり、本市の魅力向上への貢献が期待できること
	産地	次のいずれかに該当していること ・市内で生産、製造、加工のいずれかをしているもの ・主な素材について市内の原材料を使用しているもの
	信頼性	・法令等に違反していないこと ・外観、価格、品質ともに安全で安心して消費者が使用できること ・気候、風土、伝統を生かした原材料や技法を取り入れ、技術の蓄積と商品化の創意工夫がみられること
	安定供給	品質および数量の面において、安定供給が見込めること。ただし、期間限定および数量限定で供給可能なものはこの限りではない

申・問観光商工課 企業誘致・商工振興室

☎35-3727(直通)

第8回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会

各市町村の代表選手が、宮崎県庁前を発着点とする12区間39.2kmで健脚を競う、第8回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会が開催されます。

小学生から50歳以上の成人までさまざまな年齢層の選手たちが、ふるさとの誇りをタスキに込めて、新春の日向路を駆け抜けます。

えびの市からも代表選手が出場しますので、ぜひ応援に行き、間近で選手たちに声援を送ってください!

【日時】平成30年1月8日(月・祝日) 午前10時スタート予定

【走路】宮崎県庁前をスタート・ゴールとした宮崎市内周回コース

区間	距離	中継所	先頭通過予定時間
第1区(小学生男子)	1.8km	宮崎県庁前	10:00
第2区(50歳以上)	2.2km	中村東・西村楽器大淀店	10:05
第3区(高校生)	5.0km	本郷北方・日建学院宮崎校	10:13
第4区(40歳以上49歳以下)	2.6km	マルミヤストア郡司分店	10:28
第5区(中学生)	2.7km	ながの屋まなび野店・西松屋チェーン宮崎まなび野店	10:36
第6区(一般)	4.8km	赤江中学校	10:44
第7区(中学生)	3.4km	見聞読タナカ吉村店	10:58
第8区(小学生女子)	1.1km	ショッピングのだ本店阿波岐原店	11:09
第9区(小学生男子)	1.5km	ガーデン光房一ツ葉店	11:13
第10区(一般)	7.4km	市民の森バス停	11:18
第11区(小学生女子)	1.0km	野崎東病院	11:41
第12区(高校生)	5.7km	東大宮中学校	11:45
		宮崎県庁前	12:02

問市社会教育課 市民体育係

☎35-3719(課直通)

「虐待を受けたと思われる子ども」を見かけたら連絡を

近年、子どもの虐待について、多くの事件が発生しており、深刻な社会問題となっています。児童虐待は、身体的虐待、心理的虐待、ネグレクト(育児放棄)、性的虐待に分けられ、これらが重複して起きていることもあります。

児童虐待は、経済問題や家庭問題が解決せずに悩む親からの、SOSサインであるともいえます。

次のような状況が重なるときは、虐待の可能性が高くなります。

【子どもについて】

- ・いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- ・不自然な傷や打撲のあとがある
- ・衣類や体がいつも汚れている
- ・落ち着きがなく乱暴である
- ・表情が乏しい、活気がない
- ・夜遅くまで一人で遊んでいる

【保護者について】

- ・地域などと交流が少なく孤立している
- ・小さい子どもを家においたまま外出している
- ・子どもの養育に関して拒否的、無関心である
- ・子どものけがについて不自然な説明をする

子どもへの虐待は、子どもの体や心まで傷つけます。もし「虐待を受けたと思われる子ども」を見つけたら迷わず、すぐに都城児童相談所や市役所に連絡(通告)してください。児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。あなたの1本の電話で救われる子どもがいます。連絡いただいた人の秘密は厳守します。

問全国共通ダイヤル(地域の児童相談所へ繋がります。)

☎189

問都城児童相談所

☎0986-22-4294

問えびの市子育て専用ダイヤル(月曜～金曜 午前9時～午後4時)

☎35-0732

問市福祉事務所 子育て支援係

☎35-3738(直通)

自衛官候補生の採用試験

自衛隊宮崎地方協力本部小林地域事務所では、次のとおり、平成29年度自衛官候補生の採用試験を行います。

【資格】18歳以上27歳未満の男子

【受付】年間を通じて募集

【試験日】受付時に通知

申・問自衛隊宮崎地方協力本部 小林地域事務所

☎22-5254

建設労働者訓練生の募集

宮崎県建築業協会では、深刻な人材不足に陥っている建設労働者の育成・確保を図るため、訓練生を次のとおり募集します。

【コース名】 躯体系総合コース（とび・土工、鉄筋、型枠）
【対象者】 未就職者、離転職者、新卒者、未就職卒業者などの求職活動中の人で、宮崎県内での就職を希望する人
※定時制・通信制の学校へ通っている人も可

【実施場所】 宮崎県建設技術センター、キャタピラー九州（株）宮崎教育センター、（株）カゲヤマ加工場、（有）松浦組作業場、赤星建設（株）加工場

【訓練期間】 平成30年1月29日（月）～3月2日（金）

【訓練日数】 25日

【申込期限】 平成30年1月12日（金）

【定員】 15人

【費用】 職業訓練費用、資格取得費、宿泊費、交通費（公共交通機関利用のみ）すべて無料。※食事は自己負担

■**申・問**一般社団法人宮崎県建築業協会内 建設労働者緊急育成支援事業（担当：黒木）

☎0985-65-5864 FAX 0985-65-5844

平成30年度保育所等の利用希望者は申し込みをお願いします

市では、平成30年4月以降の保育所等の入所について、次のとおり利用の申し込みを受け付けます。

■**保育所・認定こども園（保育認定）**

【受付期間】 12月1日（金）～28日（木）

【受付場所】 市福祉事務所 子育て支援係

【受付時間】 午前8時30分～午後5時15分（次表の日時を除く）

現在、保育所等を利用している児童（在園児）についても、平成30年4月以降の利用を希望する場合、新たに申し込む必要があります。在園児を対象に下表の日程で各園でも受け付けを実施します。

受付日	受付場所	受付時間
12月11日（月）	京町こども園	午後3時～ 午後6時
12月12日（火）	加久藤乳児保育園	
12月13日（水）	加久藤保育園	
12月14日（木）	真幸認定こども園	
12月15日（金）	なかよし認定こども園	
12月18日（月）	飯野保育園	
12月19日（火）	和光保育園	
12月20日（水）	上江保育園	
12月21日（木）	認定こども園ふじ幼稚園	

保育所等を利用するためには一定の要件があります。また、申込書には、保育を必要とする事由を証明する書類の添付が必要です。「平成30年度特定教育・保育施設の利用案内」で確認してください。

利用案内を含む申込書一式は、市福祉事務所、飯野・真幸出張所、市内各保育所等で配布しています。

【提出する申請書等】

①支給認定申請書兼保育所等利用申込書(2号・3号認定用)
②保育を必要とする事由を証明する書類(就労証明書、母子手帳の写し、医師の診断書など) ※詳細は①に記載していますので、必要な書類を添付してください。

③所得課税証明書(えびの市外からの転入者のみ) ※必要となる証明書の年度や対象者が異なることがあります。詳細は「利用案内」をご覧ください。市福祉事務所にお問い合わせください。

入所および保育料の決定は、平成30年3月上旬に行う予定です。

なお、各保育所等への申し込み状況等によっては、希望する保育所等への入所(兄弟姉妹同時利用を含む)ができない場合があります。

■**幼稚園・認定こども園(教育標準時間認定)**

各園が定める日時により、各園へ直接申し込む必要があります。詳しくは、利用を希望する幼稚園等へお問い合わせください。

【提出する申請書等】

①支給認定申請書(1号認定用)
②入園申込書(各園によって異なります)
③その他必要となる書類(各園によって異なります)
④所得課税証明書(えびの市外からの転入者のみ) ※封筒等に入れて封をしてください。必要となる証明書の年度や対象者が異なる場合があります。詳細は、「利用案内」をご覧ください。

■**申・問** 市福祉事務所 子育て支援係

☎35-3738(直通)

臨時職員(土木作業員) 募集

市では、臨時職員(土木作業員)を募集します。

【募集人員】 若干名

【業務内容】 公道の除草および道路の補修作業全般

【勤務場所】 市建設課補修係

【勤務時間】 午前8時30分～午後5時15分(月曜～金曜)

※祝日を除く

【報酬】 7,000円(日額)

【必要な資格】 普通自動車運転免許

【保健等】 社会保険、雇用保険あり

【雇用期間】 12月1日～平成30年3月31日

【申込方法】 市様式の履歴書を市建設課に、直接または郵送で提出してください。

【申込期限】 11月27日（月）午後5時 ※郵送の場合は必着
【選考方法】 書類選考（市様式の履歴書）および面接
※面接試験日については、募集期間終了後、応募者に連絡します。

■**申・問**市建設課 補修係

☎35-3724(課直通)

平成30年度宮崎県東京学生寮入寮者募集

宮崎県東京学生寮では、平成30年度の入寮者を募集します。

【募集人員】 50人程度(1部屋定員2人) ※全室2人部屋

【入寮期間】 平成30年4月1日～平成32年3月31日

【応募資格】 ①平成30年4月に、学校教育法に基づく大学、短期大学および修業年限2年以上の専修学校専門課程等に入学を予定(入学が決定していない者を含む)している男子学生で、保護者が宮崎県内に居住する人

②入学した場合、居住に困窮する人

③経済上の理由で入寮を必要とする人

④寮費等納入金を支払う能力のある人

⑤健康で共同生活を営むことのできる人

【寮費】 19,100円(現行月額) ※電気料金は実費、食事の提供はなし

【申込方法】 入寮申込書に必要書類を添付のうえ、以下の申込先に直接提出するか、郵送で提出してください。

【申込先】 宮崎県東京学生寮

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-2

【申込期限】 平成30年1月5日（金）※必着

■**申・問**宮崎県東京学生寮

☎03-3263-5068



◎今月の表紙

BE-PAL MEAT CAMP in えびの
で、木材を使用したクラフトワーク
ショップで丸太を切る子ども。

今月の納税

国民健康保険税 第5期
後期高齢者医療保険料 第5期

11月30日（木）までに納めましょう。

人口 18,791人(前月比-13人)

男性 / 8,854人 (-4人) 女性 / 9,937人 (-9人)

転入 / 47人 転出 / 48人

出生 / 12人 死亡 / 24人

世帯数 8,515世帯(前月比-20世帯)

(平成29年11月1日現在)

Editor's
焼朝 肉スタジアムの取材に行きました。寒い中でしたが多くの方が来場していました。焼酎のお湯割りがおいしそうでした。(東)
晩が随分と冷え込むようになりました。風邪をひかないように、手洗いうがいをし、温かいものを食べて、しっかり睡眠をとるように心掛けたいと思います。(久保田)



写真:ジョウビタキ (撮影:平成29年1月27日)

「ジョウビタキ」

庭から高原までいるおなじみの冬鳥

赤や黄に霧島山を美しく彩る木々がその葉を落とすと、もう冬はすぐそこ。ハイキングをすると、花や昆虫の姿を見つけることは難しくなりますが、葉が落ちて見通しが良くなるので野鳥たちの姿を見つけやすくなります。つつじヶ丘やピクニック広場を歩いていると、「ヒッ…ヒッ…ヒッ…ヒッ」と、とてもよく通る鳴き声が聞こえます。あたりを探してみると、オレンジ色の小さな鳥ジョウビタキでした。

低木のこずえの上でしばらく鳴いた後、地面に下りてさかんに落ち葉めぐり。どうやら餌を探しているようです。数秒して、小さなくちばしで獲物をくわえ、こずえに戻り、暴れる獲物をくわえ直しながら飲み込んでいました。

庭や公園など身近な場所にもよくいることから見つけやすい冬鳥。このオレンジ色の小さな野鳥を見ると、冬の訪れ、そしてこれから楽しい冬鳥観察のシーズンがやってくることを感じます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ジョウビタキ
Phoenicurus aureoreus

スズメ目 ヒタキ科

